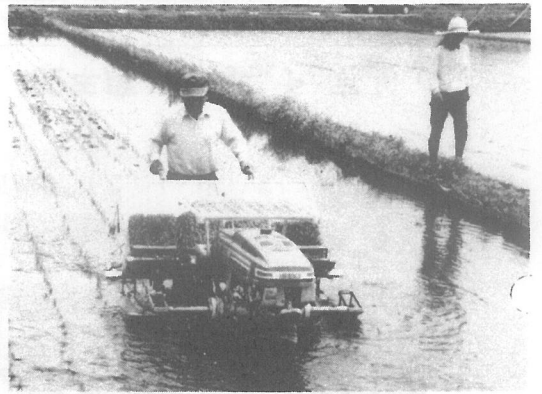


豊作を願って!

ゴールデンウィークをピークに豊かな田園に田植機の音が響びきわたりました。農家の皆さんご苦労さまでした。今年も豊作でありますように。



那須 清江
連燈のゆらめくりラの花かげに
待ちしもはるか遠きまぼろし

吉岡 信子
うすれゆく記憶の父母に逢ひたく
て 今日久々に生家を尋ね

秋葉 とく
散りしきる桜の花の流るるを
歩道橋よりしばしみてをり

掛川 友代
父母にさへ心とさせる障害を
持つ少年が雪に戯る

北田 ふじ
さらさらと指よりこぼる砂のけて
握りし浜うど潮の香もてり

海保 きみ
短歌会に「鈴木勝賞」を受け
その詩集をば吾は読みつぐ

土屋 栗水
妻植ふし白蓮咲きぬ初花を
手折りて墓に供へむときぬ

津田 若菜
高台のみ寺の由緒尋ねむと
桜吹雪きの坂登りゆく

萩原 信一
若くして逝きたる戦死ら思ひつづ
じは長らへて夜桜に佇つ

藤代 ゆう
陶土練り輓轡に向ふひとときの
このすがしさにしばし身を置く

(選者) 齊藤つね子
葉挿しせるセーントポリアは
冬を越え微かに紅き新芽持ちきぬ

私のひとこと



私が、この良い環境の横芝町に参りましたのは、ついこの間のように思いますが、もう40年余りになります。今年も元気で、93歳の高齢を迎えることが出来ました。この幸は、御近所の皆様や町内の皆さん方のお陰だと、深く感謝申しあげます。本当に有難うございました。

私には大勢の孫がおりますが、やさしくいたわってくれますので、何の不足もございません。平和な毎日を送っております。両親を見習いましてか、孫達も「おばあちゃん、我が家の宝だ。」と言って私を喜ばせてくれます。肩たたきや腰もみしてくれる孫との語らいは最高です。遠くにおります孫が、「おばあちゃん、又来ましたよ」と訪ね来るのを待つのも、楽しみの一つです。

静かな日々

古村きぬ(東町)

来春早々には、顔を見せてくれるひこ孫の誕生まで健康でありたいと念じて、この老体に鞭打って頑張っております。今日この頃です。



歌壇



池田 春江

マイクより感謝の言葉流れ来て
私鉄となりし今日はさわやか

宇井 ちい

たちまちに春の陽射しは暗転し
円を描きて雪の吹き舞ふ

大場 和可

屋根よりの落雪の音高ければ
遊びの手やめ子は振り仰ぐ

齊藤 佳子

受持の変わりし事を告げたくて
息はずませて帰りしか子は

西山満里子

剣道の昇段祝ひと賜りし
ポピーの花は卓にかがよふ

向後 泰治

老大の入学式のありさまを
妻に語りぬ昂ぶりもちて

齊藤 幸子

自がためと逢ひて置きたる衣を
母は 逆縁となりし嫂に着せをり

齊藤 秀男

手を振りて見送りてみし保育所の
バスに今日より孫は乗りゆく

佐瀬 初音

お猿さんのお顔みたいと幼な児は
三色すみれの花を摘みきぬ

渋谷 静子

連翹の花色ややにあせきしか
寒のもどりの雨降りつづく